

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和7年1月17日（金）

2 確認箇所

Eタンクエリア（図1）

3 確認項目

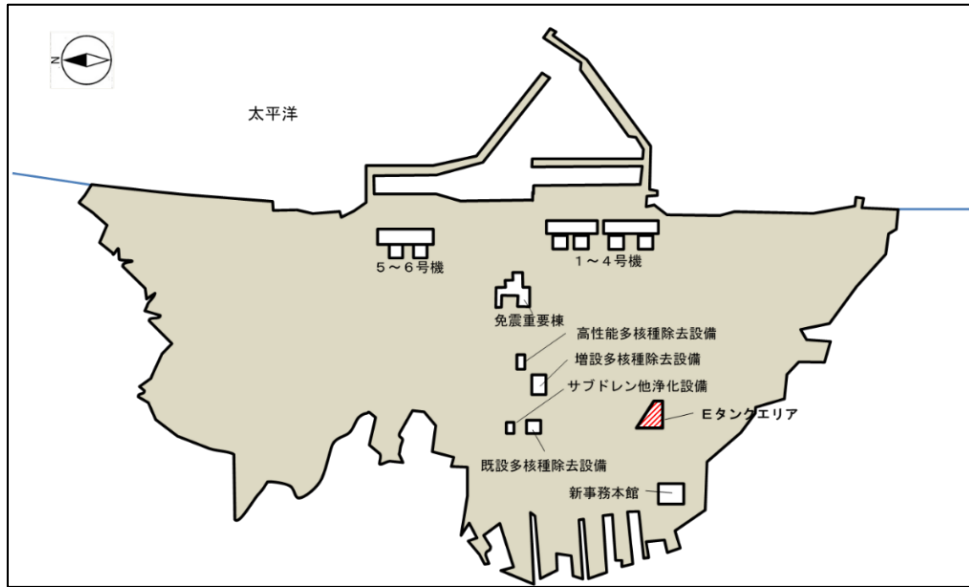
フランジ型タンクからのスラッジ回収作業の状況

4 確認結果の概要

Eタンクエリアでは、フランジ型タンクの解体作業が進められており、これまでに全49基中48基の解体が完了している。残る1基のD1タンク（写真1）の底部残水（RO濃縮水）には、アルファ線放出核種が含まれており、底部残水の漏えいリスク低減のため、タンク内のスラッジ等の回収後に、タンク内壁を除染し、解体を行う計画となっている。

今回は、令和7年1月9日に開始されたスラッジ回収作業の状況を確認した。（前回確認日：[令和6年11月26日](#)）

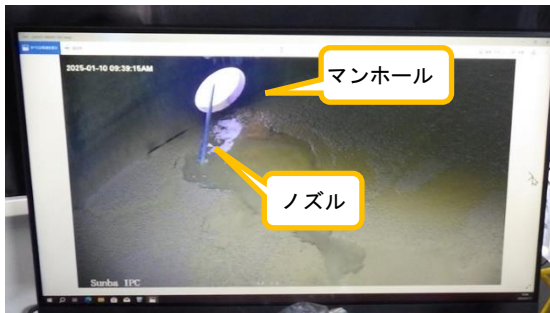
- ・作業員がD1タンクの側板マンホール部分からノズルを挿入し、スラッジ回収作業を行っていた。（写真2）
- ・スラッジはポリエチレン製容器に回収され、その容器は金属製コンテナに収納されていた。（写真3）
- ・スラッジ回収に使用するバキュームポンプが設置されたハウス内は、Rαゾーンに指定されており、入域する際にはアノラック（防水性の作業服）などの着用が必要であった。（写真4）
- ・確認した範囲では、タンクや配管からの漏水などの異常は確認されなかった。
- ・東京電力によるとスラッジは令和7年4月頃に回収が完了する予定であり、その後タンク内面を除染し、令和7年12月までにD1タンクを解体する計画である。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
フランジタンク外観



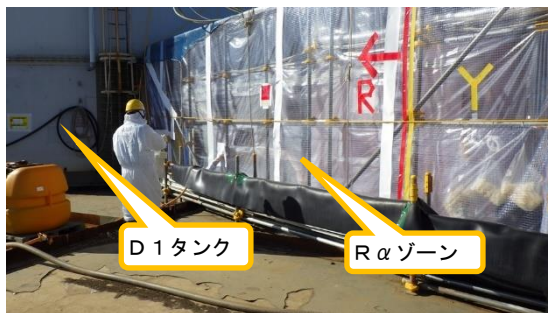
(写真2)
スラッジ回収作業の状況
※タンク内に設置されたカメラの映像を確認。
※映像は1月10日に撮影されたもの。



(写真3-1)
スラッジ回収用のポリエチレン製
容器
※ハウス内に設置されたカメラの
映像を確認。



(写真3-2)
写真3-1にある容器と同型の容
器
※この容器の中にはろ過水が入っ
ている。



(写真4)
R α ゾーンに指定されているハウ
スの状況

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常値は確認されなかった。